

平成30年度 防衛議員 視察報告書



平成 30 年 9 月 27 日

太陽の会

視 察 報 告 書

以下の通り視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

太陽の会×4名

・永田照明・迫間輝昭・小玉忠宏・上坂月夫

2 視察先・テーマ及び日時

(1) 視察テーマ：第13回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会研修視察

(2) 視 察 先：「総会・防衛講話」長崎県佐世保市「九十九島ベイサイドホテル」
「駐屯地視察」長崎県佐世保市「相浦駐屯地」

(3) 日 時：平成30年8月29日（水） 13：00～19：30

3 視察の内容

(1) 九州・沖縄防衛議員連絡協議会総会 13：00～13：45

(2) 防衛講話「我が国の列島線防衛と水陸機動団」 13：55～15：10
・講 師：青木伸一「陸上自衛隊 水陸機動団長」

(3) 研修視察：「陸上自衛隊 相浦駐屯地」 16：00～17：00

(4) 交 流 会（九州・沖縄、各県防衛議員等×210名） 18：00～19：30

4 視察の感想

第13回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会に都城市防衛議員連盟6名が参加した。連絡協議会総会においては、平成29年度事業報告・平成30年度事業計画と大会決議が承認可決され、防衛講話は都城市出身の青木伸一 陸将補「水陸機動団長」が「我が国の列島線防衛と水陸機動団」と題して講話された。訓練視察については、陸上自衛隊相浦駐屯地の水陸機動団の装備品の展示・訓練施設・訓練状況等を視察した。

連絡協議会総会及び防衛講話には、九州・沖縄県の58の県・市・町の防衛議員連盟から207名の議員が出席され、交流会においては、陸上自衛隊西部方面総監を初め、海上自衛隊佐世保地方総監・航空自衛隊西部方面隊司令官等の九州・沖縄地域の・陸・海・空の最高指揮官の他、それぞれの部隊長・幕僚等が出席されており、防衛議員連盟の役割・重責を再認識した。

今回の視察研修において、九州・沖縄各県・各市町村の防衛議員連盟等が連携し、国の防衛に対する各県市民の意識の啓発と高揚を図り、又、自衛隊の諸活動への協力を通じ、その発展に寄与し、我が国の平和と発展に貢献することを目的とする、防衛議員の地位・役割を自覚・再認識したものと思料する。併せて、各県・各市町村の防衛議員との親睦を深めることができた。

5 視察の成果及び市政への反映事項等

(1) 視察の成果

ア 防衛講話

自衛隊の「海兵隊」と言われる「水陸機動団」が、今年の3月27日に創立され初代団長に都城市出身の青木伸一陸将補が着任された。水陸機動団の任務は、我が国の尖閣諸島等の離島防衛が主たる任務である。

中国の軍事的進出線である「第一列島線」（日本列島から南シナ海を結ぶ線）と「第二列島線」（小笠原諸島からグアム島を結ぶ線）を海上の進出線として海上戦力を増強している中国の脅威を日本国民はどのように感じているのか・・・？

ロシアの軍事的戦略には、太平洋への進出には北方領土は緊要な諸島で軍事化する必要がある。日本国民はロシアが「北方領土」を返還しない本当の理由は何か、知っているのか・・・？

中国が10年間で3倍の軍事力（18兆4,500億円）を増強し、尖閣諸島付近で一般船舶による海上行動する理由を知る必要がある。

2020年は東京オリンピックが開催される年、中国は軍事態勢を完了する年とされている。「平和と悲慘な戦争は紙一重」であることも忘れてはならない。

今回の防衛講話で、日本の領土である尖閣諸島を初め与那国島・石垣島・宮古島奄美大島等の離島を他国の脅威から守る任務を有する「水陸機動団」の役割を改めて認識するとともに、国防意識の高揚が必要であると痛感した。

イ 訓練視察

陸上自衛隊「相浦駐屯地」の視察については、水陸機動団としての主任務である尖閣諸島等の離島防衛の任務遂行に必要な部隊装備品及び個人装備品を確認した。

訓練内容については、海上からの潜入・偵察要領、海中へ墜落したヘリからの脱出要領等の訓練など、あらゆる状況を想定して訓練している。訓練課目・内容から、水陸機動団の任務の重要性・過酷さを再認識した。

ウ 交流会

陸・海・空の自衛隊指揮官及び各県・市・町の防衛議員との親睦を深めるとともに、情報の共有化を図る事ができた。

(2) 市政への反映事項等

ア 我が国を取り巻く周辺国に対する、危機感・国防意識の高揚が必要。

イ 「戦争の悲慘さ」・「平和のありがたさ」の伝承教育が必要。

ウ 都城市に駐屯する自衛隊の任務・役割等の理解・再認識。

エ 都城市の防衛議員連盟としての地位・役割の再認識。

オ 都城市民の各種災害等の教訓事項等に基づく災害対処に関する知識の涵養。

6 添付資料

(1) 研修視察内容・時程等・・・・・・別紙第1

(2) 総会・防衛講話・相浦駐屯地視察の状況・・・・・・別紙第2

第13回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会 総会等日程

○期 日：平成30年8月29日(水) 13時～19時30分(各県議連については12:30から役員会)

○場 所：九十九島ベイスайдホテル&リゾート フラッグス及び陸上自衛隊相浦駐屯地

○九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会等

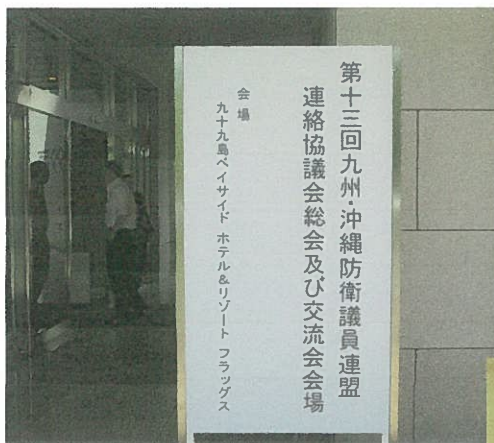
時 間	内 容	備 考
12:00～	受 付	新館1階 ロビー
12:30～ 12:45 (15分)	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会役員会 ※各県議連(8県)の役員のみで実施	本館1階 フレッゾ
13:00～ 13:45 (45分)	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会 ・ 役員就任について ・ 会長あいさつ ・ 来賓あいさつ ・ 来賓等紹介 ・ 議案審議 第1号議案 平成29年度事業報告(案)及び決算(案)について 第2号議案 平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について ・ 大会決議 ・ 次期開催県について	新館1階 グランディス
13:55～ 15:10 (75分)	防衛講話 講 師 水陸機動団	新館1階 グランディス
15:25～ 15:50	貸切バス移動 *参加者はすべて当バスで移動	
16:00～ 17:00 (60分)	陸上自衛隊相浦駐屯地視察	
17:10～ 17:30	貸切バス移動	
18:00～ 19:30 (90分)	交流会	新館1階 グランディス

○訓練視察 (陸上自衛隊相浦駐屯地)

→ 総会会場と視察会場までの交通手段については、当方にて用意する貸切バスにて移動します。

時 間	内 容	備 考
16:00～ 17:00 (60分)	水陸機動団訓練視察	

【 別 紙 】



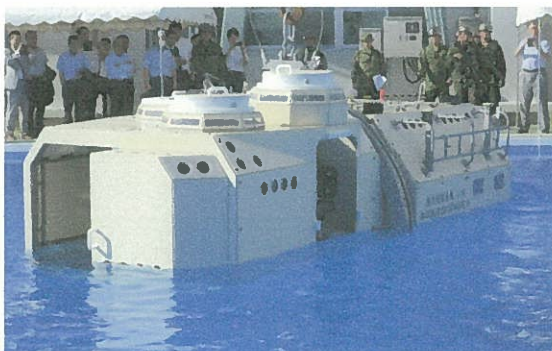
総会



講演

演題「我が国の列島線防衛と水陸機動団」

講師 水陸機動団長 青木 伸一 陸将補



第 13 回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会報告書

太 陽 の 会

永 田 照 明

平成 30 年 8 月 29 日(水)

総会場所 長崎県佐世保市九十九島ベイサイドホテル&リゾートフラッグス
新館 1 階グランディス

総会時間 13:00～13:45

防衛講和 13:55～15:10

演 題 「我が国の列島線防衛と水陸機動団」

講 師 陸上自衛隊 水陸機動団長 陸将補 青木伸一氏
都城市梅北町出身

視察時間 16:00～17:00

視察場所 陸上自衛隊相浦駐屯地

(水陸機動団訓練視察)

交流会 18:00～19:30 (新館 1 階グランディス)

研修感想

事業計画案にあるように、講演会、視察等の実施、会員相互や自衛隊との意見交換・相互理解の促進を図る。又、自衛隊の活動実態に対する県民と相互理解を図るため、市町村における防衛議員連盟設立の要請を実施するなどがありますが、まさにその通りで日本の国土防衛だけでなく、今年度も数多くの自然災害が日本列島で発生し、風水害や大災害時の救援に最初に駆け付け、危険を顧みず大勢で働くのは警察官より自衛隊員であります。今回視察いたしました、陸上自衛隊相浦駐屯地水陸機動団訓練で、プールにおける水陸両用車模擬車からの脱出訓練隊員は装備を付けたまま訓練し、沈没するにも色々な種類が想定しており、訓練中におぼれる隊員が出てくるので、訓練隊員を助ける補助員がプールの中に待機して訓練をしていました。夜に行う斥候隊員の訓練は、装備を付け足にはフィンを付け泳ぐ訓練をするそうです。自衛隊員の方々は自分たちは国土・国民を守るという事に命を懸け、日々の訓練でさえも死に物狂いの訓練に頭の下がる思いでした。都城市防衛議員連盟は県議団の次に県内で 2 番目に発足しましたが、県内の市町村には未だにできていないところが多い。極力声掛けしたいと思うところです。

【第13回九州沖縄防衛議員連盟総会に参加しての所感】 平成30年9月7日

都城市議会議員

太陽の会 小玉 忠宏

1 日時

平成30年8月29日（水） 13:00～19:30

2 会場

12:30～15:30 総会 ⇒ 九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス

16:00～17:00 視察 ⇒ 陸上自衛隊相浦駐屯地/水陸機動団

18:30～19:30 交流会 ⇒ 九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス

（都城市議会議員で構成する「都城市議会防衛議員連盟」会員として参加。）

3 【総会の目的や経緯、講演等】

九州・沖縄各県市町村の防衛議員等が連携し、国の防衛に対する各県・市民の意識の啓発と高揚を図り、また、自衛隊の諸活動への協力を通じ、その充実と発展に寄与し、我が国の平和と発展に貢献することを目的として開催。本年は、長崎県防衛議員連盟が主催のもと長崎県佐世保市に於いて 第13回総会 が約230名の参加により開催された。総会では「大会決議文」を採択した後、防衛講話「我が国の列島線防衛と水陸機動団」と題して、水陸機動団長 青木 伸一 陸将補（都城市出身）の講話があった。

4 所感

【講演の所感】

⇒日本を取り巻く諸外国の軍事力や日本列島に及ぶあらゆる侵略等に対する防衛の在り方等を勘案し、水陸機動団が設立されたその背景や任務等について学ぶ機会となった。日本に対するアジア圏の一部の国が反日的な政治的、国民的な感情を増幅させるような状況の中、しっかりした防衛の取り組みと教育で世界で最も古く永い歴史を持つ日本という誇りある国を教え子々孫々に継承していかなければならないと強く認識した。

【訓練の所感】

⇒これまで、自衛隊の最強部隊として厳しい訓練の上に築かれた最強の習志野空挺団。習志野空挺団は、福島原発の対応にも先陣を切って現地入りした部隊である。この組織を超えるような、島嶼奪回等の厳しい訓練に日々明け暮れる隊員の顔は凛々しく自信に満ちた顔、眼差しを感じた。有事の際は習志野空挺団と連携して事に臨むと説明を受け、事が起きないことを祈りながらも隊員ひとり一人の頼もしい姿に感激した。

第 13 回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会

迫間 輝昭

期日 平成 30 年 8 月 29 日(水) 13:00～19:30

場所 長崎県 佐世保市

九十九島ベイサイドホテル&リゾートフラッグス及び陸上自衛隊相浦駐屯地

＊13:00～14:45 九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会

大会決議

・わが国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因がより顕在化、先鋭化してきており、一層厳しさを増している。

そのような中、本年 3 月に離島防衛を主な任務とする陸上自衛隊の新組織「水陸機動団」が長崎県佐世保市に新設されるなど、南西地域の防衛態勢強化が図られている。

この様な安全保障環境のもとで「平和安全法制」が平成 28 年 3 月に施行され、駆け付け警護などの新任務も付与されて、切れ目のない形で我が国の平和と安全の確保が現実のものとなった。今後「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」に基づき、厳しい財務状況の中にあっても各種事態への実効的な対応及び即応性の向上が着実に図られるとともに、外交努力による安定した国際環境づくりの重要性を、九州・沖縄地域で政治活動する我々は、強く認識するところである。近年の少子化及び景気回復に伴う人材獲得競争の益々の激化により厳しい環境にある自衛官の確保に向けた基盤の拡大と強化を図る必要がある等、決議された。

- ① 自衛隊の国土防衛という本来の任務及び国内外における多様な役割への貢献に鑑み、自衛隊定員の増員及び任務遂行のための諸施策に必要な予算増額措置を行うこと。
- ② 日本の領土、領海、領空を守るために必要な防衛体制の整備・拡充並びに安全保障の本質である外交努力により、安定した国際環境づくりを進めること。
- ③ 平和安全法制について、国民に対する周知に努め、「自衛隊の任務遂行に必要な施策を推進するとともに、自衛官の処遇改善に取り組むなど自衛隊員が、国民の理解と支持を得て、誇りと自信を持って任務遂行するための国内環境づくりを進めること。
- ④ 我々各防衛議員連盟は引き続き連携し、自衛隊の諸活動を支援し県民と自衛隊の相互理解を図ると共に、各県民の防衛意識の啓発と高揚に取り組み、併せて、自衛官の募集や再就職援護業務を支援し、自衛隊の充実と発展に寄与すること。

以上決議する。

＊13:55～15:10 防衛講話

「我が国の列島線防衛と水陸機動団」について

陸上自衛隊 水陸機動団長 陸将補 青木伸一氏

講師の出身地は都城市梅北出身である(都城西高校)

＊16:00～17:00 陸上自衛隊相浦駐屯地視察

視察内容 水陸戦車の装備、海中からの脱出訓練等の見学を行った。

◎防衛議員連盟総会に参加しての感想

本市にも、第四十三普通連隊があり、長崎県佐世保市には海上自衛隊、本年 3 月には陸上自衛隊「水陸機動団」が新設され、またアメリカの基地もあります。本市 第四十三普通連隊、行政 防衛議員連盟と親密に連携を取り災害が発生した時には拡大しない様に努めたいと思いました。